

第29回測量調査技術発表会 測技協 ワークショップ2007

2007年6月22日 パシフィコ横浜での全国測量技術大会2007において、第29回 測量調査技術発表会（以下技術発表会）及び、安全安心マップづくりワークショップPART2が開催され、昨年を上回る述べ566人にご来場いただきました。

測量・設計システム展2007では測技協が普及・推進してきた、「地理情報標準プロファイル(JPGIS)」の技術概要と、今後事業展開を予定しているJPGIS適合性認証についてのパネル展示を行いました。



第29回 測量調査技術発表会

発表題名	発表者
ヒューマンナビゲーションにおける「サインマップ」の可能性	丸山智康／国際航業(株)
道路統合管理システム	馬場常年／(株)バスコ
地図のブロードキャスト型活用について	青柳京一／(株)ゼンリン
川崎市のGPS水準測量の導入効果について	○新出陽平・相京幸一・田中 穰・藤井陽一郎／(株)日豊、平野 優／(川崎市)
マーシャル諸島マジュロ環礁におけるGPS測量とジオイド	○大西俊次・今枝良平・佐野滋樹・伊藤和弘／玉野総合コンサルタント(株)、山野博哉／(独)国立環境研究所、茅根 創／東京大学大学院
空中写真とVRS方式RTK-GPS測量を用いた効率的な高精度3次元モデルの作成	三浦 順／朝日航洋(株)
FKP方式による移動体測量	○板橋康弘・西川啓一／三菱電機(株)
ICタグ四次元座標管理システム	○田中 穰・相京幸一・新出陽平・藤井陽一郎・荒木春視／(株)日豊
高々度撮影によるDMCとRC30の精度検証報告	○池田良生・三浦博之・鈴木 寛／朝日航洋(株)
航空機搭載合成開口レーダ(Pi-SAR)による地物判読性と撮影条件との関係の評価	○柴山卓史・野中崇志・高岸 且／(株)バスコ
航空レーザ計測による河道内樹木群の繁茂状況把握	○荒瀧和律・畠 周平・中村明彦・大久保充・小西久充／アジア航測(株)
航空レーザ測量での山岳地域における土砂生産モニタリングによる大規模崩壊地の捕捉	○小林 浩・津留宏介・中島 保／朝日航洋(株)、大森正昭・石田勝志・生駒和昭／国土交通省天竜川上流河川事務所
富士山大沢崩れの崩壊経年計測とその解釈	○宮田直樹・中筋章人／国際航業(株)、石原慶一・荒木孝宏／国土交通省富士砂防事務所
赤色立体地図の作成法の改良とその応用	○千葉達朗・鈴木雄介／アジア航測(株)

安全・安心マップづくりワークショップ PART 2

	プレゼンテーション	プレゼンター
	安全・安心マップはなぜ必要か	住田英二／アジア航測(株)
事 例	土地条件図を利用した災害危険性の評価と表現方法	北原敏夫／国土地理院
事 例	災害発生時での災害状況地図作成（長野県岡谷市の事例）	八木鋼冶／朝日航洋(株)
事 例	三次元デジタル地図を活用した土砂災害ハザードマップ作成	臼杵伸浩／アジア航測(株)

技術発表会終了後、技術委員会による厳正な審査の上、本年度も14編の技術発表の中から、特に発表パフォーマンスが優れていると評価された3編を「優秀発表賞」として表彰しました。また、平成18年度の先端測量技術掲載の論文から、編集委員会および技術委員会により選考された優秀論文を表彰しました。

地理空間情報活用推進基本法が成立し、測量調査業界の担う使命は益々大きくなると予想されます。

技術発表会は、来年度30回目を迎えます。記念すべき大会とするため、より多くの皆様に測量計測技術への関心を高めていただける企画を検討中です。是非、ご意見、ご提案を

お寄せください。

尚、第29回測量調査技術発表会およびワークショップの詳細は、先端測量技術96号に掲載の予定です。



◆第29回測量調査技術発表会

優秀発表賞

航空レーザ測量での山岳地域における土砂生産モニタリングによる大規模崩壊地

小林 浩（朝日航洋(株)）

富士山大沢崩れの崩壊経年計測とその解釈

宮田直樹（国際航業(株)）

赤色立体地図の作成法の改良とその応用

千葉達朗（アジア航測(株)）

◆平成18年度技術論文審査

会長賞

地形判読を支援するELSAMAPの開発

佐々木 寿・向山 栄（国際航業(株)）

奨励賞

航空機搭載合成開口レーダー（PI-SAR）の多周波／多偏波データを利用した地物判読

野中崇志・笹川 正・浦塚清峰・梅原俊彦・佐竹 誠・灘井章嗣・松岡建志・中村和樹・森山敏文（株）パスコ）